



2016年10月3日
株式会社ファンペップ

「おおさか地域創造ファンド」助成金への採択決定について

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「ファンペップ」という。）が提案しておりました「液性免疫主導の治療ペプチドワクチン（抗体誘導ペプチド）を用いた医薬品開発」が、公益財団法人大阪産業振興機構が運営する「平成28年度おおさか地域創造ファンド 重点プロジェクト事業助成金」に採択されましたので、お知らせ致します。

ファンペップは、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究により、プラットフォーム技術「STEP UP」を用いた抗体誘導ペプチドの研究開発を進めております。抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬品候補です。

抗体誘導ペプチドは、免疫システムに標的分子の情報を記憶させることで、数ヶ月に一回の投与で抗体を維持し、薬効を持続させる長期作用型医薬品として研究開発を進めています。このため、高価な抗体医薬の代替技術（「BioAlternative」）となる可能性や、生活習慣病等の「服薬コンプライアンス」の問題を解決する可能性を秘めています。

今回、ファンペップが実施する生活習慣病等の慢性疾患に対する抗体誘導ペプチドの研究開発に対する助成が決定致しました。

なお、この助成事業の期間は2016年10月3日から2017年12月29日までで、ファンペップは、本助成事業の対象である研究開発費の一部を助成金として受取る予定です。

同助成事業の詳細は、大阪産業振興機構のウェブサイト（<http://www.mydome.jp/aopf/>）を御参照ください。

以上



<参考情報>

抗体誘導ペプチド

抗体誘導ペプチドは、ファンペップが大阪大学大学院医学系研究科との共同研究により実用化を目指している機能性ペプチドで、標的分子（疾患関連タンパク質）の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされています。

感染症予防ワクチン等の従来ワクチンとは異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞障害性 T 細胞）を活性化せずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。ファンペップは、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、抗体誘導ペプチドを生活習慣病等の慢性疾患治療薬として実用化することを目指しております。

ファンペップでは、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでおります。

プラットフォーム技術「SPIRIT」「STEP UP」

ファンペップは、機能性ペプチドを創製するプラットフォーム技術「SPIRIT（Smart Peptide Research Integrated Technology）」、特殊な機能性ペプチドである抗体誘導ペプチドを創製するプラットフォーム技術「STEP UP（Search Technology of EPitope for Unique Peptide vaccine）」を保有しております。

当社は、これらのプラットフォーム技術に基づき、機能性ペプチドを創出し、医薬品、化粧品及び医療機器等の幅広い分野へ応用を図っていく方針です。

<お問い合わせ先>

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200 Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上